

感染症情報 4月22日～28日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,698例(堺市	79例)
②溶連菌感染症	574例(堺市	50例)
③手足口病	365例(堺市	17例)
④RSウイルス感染症	201例(堺市	14例)
⑤咽頭結膜熱	148例(堺市	16例)

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 760例(堺市 47例)

感染症報告数は前週比6.8%増の3,382件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、手足口病、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比して2%増、堺市は7%増であった。溶連菌感染症は府下で2%増、堺市で6%減であった。

手足口病が府下で49%増、堺市で8例→17例となった。RSウイルス感染症は府下で22%減、堺市で17例→14例であった。咽頭結膜熱が府下で36%増、堺市では9例→16例であった。

インフルエンザは府下で前週644例→今回760例であり、3週連続の増加(前週比18%増)となった。定点当たりの報告数は2.14→2.53。堺市では前週42例→今回47例となった(12%増)。まだ再流行の可能性はある。

麻疹は府下で1例あり(堺市はなし)。麻疹の年始からの府内累計報告数は132例となった。

風疹は府下で1例あり(堺市はなし)。風疹の府内累計報告数は111例となった。